2022年10月

火災保険が改定されます

近年大規模な自然災害が複数発生しており、**自然災害のリスク**が一層高まっています。
また、築年数の古い住宅の割合が増加、**電気・給排水設備などの老朽化**による影響で、
火災・水濡れリスクや台風・大雪などによる損壊リスクなど火災保険におけるリスクが総じて高い実態にあります。
このため、2021年６月に損害保険料率算出機構により参考純率の改定が行われました。

これを受けて、保険会社においても、参考純率に沿った改定を**2022年10月1日以降始期契約**より予定しています（認可取得を前提とします）。

ポイント

1 保険期間　最長５年までに短縮

自然災害リスクは将来にわたり大きく変化していくと見込まれ、長期的なリスク評価が難しくなっており、
参考純率の適用可能期間が10年から5年に短縮されます。

2 参考純率　平均10.9%引き上げ ※1 ※2

※1「参考純率」とは、保険会社が自社の保険商品の料率算出する際の参考値です。
各保険会社の料率は自社で独自に算出しているため、改定率などは、実際に保険契約者の方がご契約される保険会社の保険商品の改定率などとは異なります。

※2 上記の改定率（平均で10.9%の引上げ）は、全ての契約条件（都道府県、構造、築年数、補償内容等）の改定率を平均して算出した数値です。よって契約条件により改定率は異なります。

現在ご契約の火災保険、この機会に見直しませんか？

裏面で詳しくご説明します

帝人エージェンシー株式会社

参考純率における保険金額が建物2,000万円、家財1,000万円の場合の建物構造ごとの改定率の例です。

（注）下記は参考純率の改定率であり、実際の契約にあたっての保険料の改定率とは異なります

＜築 10 年以上の例＞

	M構造		T構造		H構造	
	都道府県	改定率	都道府県	改定率	都道府県	改定率
三　大都市圏	東京都	＋　7.3 ％	東京都	＋　3.2 ％	東京都	＋　5.9 ％
	大阪府	＋ 21.5 ％	大阪府	＋ 22.4 ％	大阪府	＋ 30.9 ％
	愛知県	＋　9.3 ％	愛知県	＋　2.2 ％	愛知県	＋　7.6 ％
最大	宮崎県	＋ 33.0 ％	山梨県	＋ 33.4 ％	沖縄県	＋ 36.6 ％
最小	山形県	＋　1.1 ％	山口県	▲　7.1 ％	山口県	▲ 10.3 ％

建物構造の種類　M構造：耐火構造（鉄筋コンクリート造等）の共同住宅

T構造：M構造以外の耐火構造の建物、準耐火構造（鉄骨造等）の建物

H構造：M、T構造以外（木造等）の建物

ご自身のご加入内容をご存知ですか？
十分な補償を得るために、この機会に見直しをおすすめします

見直しポイント 1　補償内容

リスクへの備えは十分ですか？
地震保険や家財の補償は
ございますか。

見直しポイント 2　保険期間

現在ご加入の火災保険の
保険期間は何年ですか？

※長期で加入する方が１年あたりの保険料は
割安となっています

見直しポイント 3　保険価格・保険金額

新価を基準にしていますか。
保険金額＝新価になっていますか。

※時価払の場合、経年劣化による価値の減少と
使用による消耗分を差し引いた金額になります

お気軽に帝人エージェンシーにご相談ください！

【お問い合わせ先】 フリーダイヤル:０１２０-６２６-８３３

＜受付時間＞
平日：午前９時から午後５時まで
（土・日・祝日・年末年始は、
お休みとさせていただきます。）

スマートフォンからも
お問い合わせ
いただけます。

□ご相談の際は、現在ご契約の火災保険証券、もしくは保険内容が分かるものをご用意ください。
□保険にご契約でない方は、すぐにお見積りいたします。どうぞお気軽にご連絡ください。

【代理店】
帝人エージェンシー株式会社　保険部
（大阪本社）大阪市西区土佐堀１－３－７－１６Ｆ
TEL：06-6459-5100　　FAX：06-6459-6045
（東京オフィス）千代田区霞が関３－２－１－２７Ｆ
TEL：03-3506-4903　　FAX：03-3506-4933

【引受保険会社】
東京海上日動火災保険株式会社
損害保険ジャパン株式会社
三井住友海上火災保険株式会社
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

※火災保険の「参考純率」の改定についての詳細は、損害保険料率算出機構のホームページでご覧いただけます。
※建物の構造・地域・保険金額、或いはご加入の保険会社・保険商品など個々によってご契約条件は異なりますので、
商品の詳細・サービスの詳細は契約のしおり・約款等でご確認ください。
※ご契約にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。

22-TC01030　2022年5月作成
B22-200182　2022年5月承認